

平成25年度予算見積調書

課室名：金融課
 担当名：企画・制度融資担当
 内線：3802 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B49	中小企業金融円滑化対策事業費			一般会計	商工費	商工業費	金融対策費	中小企業金融円滑化対策事業費	
事業期間	平成25年度～平成27年度	根拠法令	なし			戦略項目	07 世界水準の中小企業		
						分野施策	030101 がんばる中小企業の支援		
1 事業の概要 中小企業金融円滑化法の失効にあたり、経営改善や事業再生支援の相談体制やコーディネート機能を強化し、県内中小企業の円滑な経営改善や事業再生を支援する。中小企業の経営の健全化を図るため、中小企業の経営改善や事業再生を支援する必要がある。 (1) 中小企業金融円滑化対策事業費 4,841千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 経営改善等専門家派遣 (3,500千円) 金融円滑化法失効に伴う中小企業の専門的な課題に対し、必要な専門家を派遣する費用を商工会議所連合会及び商工会連合会に補助 イ スキルアップ研修会の開催 (372千円) 商工団体職員を対象に、相談能力の向上を図るための研修会を開催 ウ 相談ハンドブックの作成 (840千円) 県や国、支援機関の施策の内容や相談窓口を記載したハンドブックを作成 エ 企業訪問調査 (60千円) 金融円滑化法失効に伴う影響などの情報を収集するため企業訪問を実施 オ 地域金融円滑化会議の開催 (69千円) 金融機関や商工団体との情報交換を実施 (2) 事業計画 ア 金融円滑化法失効に伴う中小企業の課題に対応するための相談体制の整備 イ 金融円滑化法失効に伴う中小企業への影響、必要な支援策などの情報収集、情報交換 (3) 事業効果 県内中小企業の経営の健全化 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 平成24年9月に、埼玉県信用保証協会を事務局とし、地元金融機関、商工団体、支援機関、国、県など26機関が参加し、彩の国中小企業支援ネットワークが発足。参加機関との連携を図り、各機関の支援施策を活用し、中小企業を支援。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 @9,500千円×0.7人=6,650千円									
				財 源 内 訳					
予算額								一般財源	前年との対比
決定額	4,841							4,841	4,841
前年額	0							0	